

各園の活動(3)【そうぞう・つたえあうをたのしむ】 みずべこども園5歳児

<友達に伝えよう！>

正月の休み明け、久しぶりに顔を合わせた友達と、楽しそうに休み中の出来事を伝え合っていました。いろいろなお店に出かけた子どもが多く、その楽しかった経験から「お店づくりたい!」「それいいね!」「何がいいかな?」「おもちゃさんやりたい!」と次々に声上がり、「おもちゃ」「おもちゃや」「まふらーや」「えほんや」と、話がどんどん盛り上がってきて、いくつかのお店をつくることになりました。

どんなお店にしたいか、必要なものは何か、どんな素材を使ってつくるかなど、一人一人のアイデアがどんどんあふれてきていたので、思いが共有しやすいようにと思い、保育者から「どんなお店にしたいのか絵にかいてみる?」と提案すると「かく〜!」「先生、お〜つきい紙ちょうだい!」とすぐにかき始めました。

おかねいるよね?

なんえんにする?
100えん?

がようしてつくる?

うん!
がようしいろんないる
あるしね!



それぞれがどんなお店をつくろうと思っているのか、お店毎に話し合った内容を発表することになりました。

発表する子たちは緊張した面持ちで皆の前に並んでいましたが、絵にかいたことで伝わりやすくなり、どの子も真剣に見て話を聞いていました。友達が真剣に見て聞いてくれると分かると、声がだんだんと大きくなり、言葉がはっきりしたり、表情から不安な様子が消え自信が感じられるようになったり、話を聞いてもらう嬉しさ(安心感)や、相手に伝わる喜び(達成感)を感じているようでした。発表時には、紙を持つ人、話をする人に分かれるなど役割分担したり、足りない部分を補足し合ったりしながら話す姿が見られました。

ちゃんと
見えてるかな
もう少し上にしてみよう

ぼくたちは
おもちゃやをつくります!

switch もある!

みんな絵を見て
ちゃんと聞いてくれてる!
うれしいな



<一緒につくろう！>

「私看板つくるね」「じゃあ段ボール持ってくるわ！」と声をかけ合う姿や、「先にえほんから 100 個つくろう」「ポケモンの本がいいな」「おやつの本もあつたらいいんじゃない」「お金っていろいろあるよね」「紙のお金っていくら？」「1000円とかじゃない？」「500円玉もあつたらいいな」など会話しながらつくる姿も見られました。



ここ
持ってるよ！

あ！
ありがとう！



テープ切っておいたよ

うごくから
おさえてて！

お店ができ、実際にお店屋さんごっこが始まると、お客さんの子から「ほしいものがなかった…」「マフラーがどこにあるか分からなかった」という声や、店員の子からも「お金をもらっても入れるところがないわ」と気づきつぶやく声、また、「品物もっといっぱい（種類）つくればいいね！」「みんな見えるように前に並べよう！」「レジなかった～。つくるの忘れとったわ！」と実際に遊ぶ（経験）ことで改善したらよいところを見つけ、さらにお店づくりが進んでいきました。

つくることに苦手意識があった子も「ここ、持ってるよ」と段ボールを支えたり、「テープ切っておいたよ～」と友達がすぐにテープを貼れるように渡したり、一人一人が自分のできることを考えお店づくりを楽しんでいます。